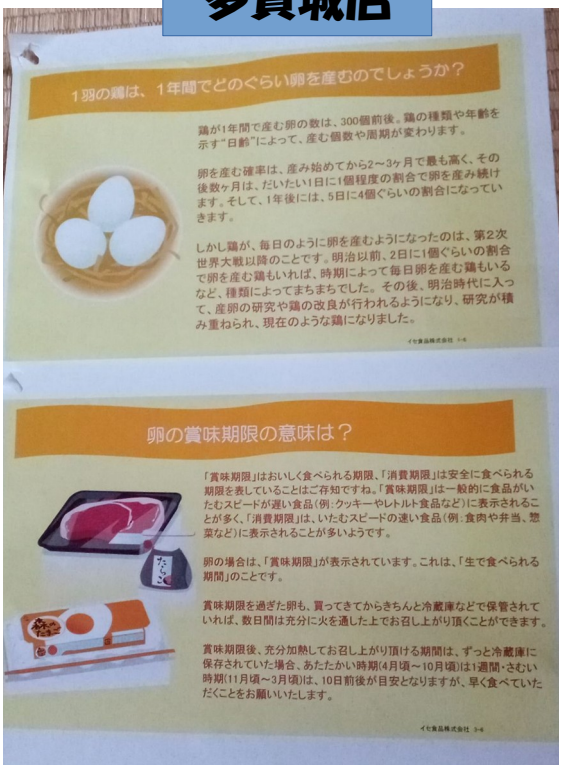
たまごの基礎知識！
安全安心でおいしいたまごって？

柏 木 店

イセ食品（株）さんに
味や鮮度もご満足いただける
たまごを生産するためのに
どんな工夫をしているか
など教えていただきました！

木 町 店

多賀城店



1羽の鶏は、1年間でどのぐらい卵を産むのでしょうか？

鶏が1年間で産む卵の数は、300個前後。鶏の種類や年齢を示す"日齢"によって、産む個数や周期が変わります。

卵を産む確率は、産み始めてから2～3ヶ月で最も高く、その後数ヶ月は、だいたい1日に1個程度の割合で卵を産み続けます。そして、1年後には、5日に4個ぐらいの割合になっていきます。

しかし鶏が、毎日のように卵を産むようになったのは、第2次世界大戦以降のことです。明治以前、2日に1個ぐらいの割合で卵を産む鶏もいれば、時期によって毎日卵を産む鶏もいるなど、種類によってまちまちでした。その後、明治時代に入って、産卵の研究や鶏の改良が行われるようになり、研究が積み重ねられ、現在のような鶏になりました。

卵の賞味期限の意味は？

「賞味期限」はおいしく食べられる期限、「消費期限」は安全に食べられる期限を表していることはご存知ですね。「賞味期限」は一般的に食品がいたむスピードが遅い食品（例：クッキーやレトルト食品など）に表示されることが多く、「消費期限」は、いたむスピードの速い食品（例：食肉や弁当、惣菜など）に表示されることが多いようです。

卵の場合は、「賞味期限」が表示されています。これは、「生で食べられる期間」のことです。

賞味期限を過ぎた卵も、買ってきてからきちんと冷蔵庫などで保管されていれば、数日間は充分に火を通した上でお召し上がり頂くことができます。

賞味期限後、充分加熱してお召し上がり頂ける期間は、ずっと冷蔵庫に保存されていた場合、あたたかい時期(4月頃～10月頃)は1週間・さむい時期(11月頃～3月頃)は、10日前後が目安となりますが、早く食べていただくことをお願いいたします。

卵白を泡立てる時に泡立て器を使うより、
網目のついたおたま（汁を切って身だけを掬う時に
使う）を使った方が早く泡立つ事が分かり
目からウロコでした！！